

博士論文の要旨及び審査結果の要旨

氏名	BALDANOV Andrey Zhambalovich		
学位	博士（学術）		
学位記番号	新大院博（学）第 219 号		
学位授与の日付	令和元年 9 月 20 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当		
博士論文名	Empirical Study on the Relationships among Rural and Agricultural Development, Human Development and Human Capital in Russian Federation since 2000s (2000 年代以後のロシア連邦における農業・農村開発、人間開発及び人的資本の関係に関する実証的研究)		
論文審査委員	主査	教授・木南	莉莉
	副査	教授・清野	誠喜
	副査	教授・末吉	邦
	副査	准教授・長谷川	英夫
	副査	准教授・平泉	光一
	副査	助教・伊藤	亮司
	副査	助教・古澤	慎一

博士論文の要旨

経済発展は、経済システムにおける人間の役割の変化の影響を受けて生産関係が変化する過程である。人的ニーズが高まるにつれて、技術開発のプロセスや人間開発、特に人的資本の更新が必要であり、農業も例外ではない。

人的資本の形成および利用は、社会志向型の経済発展と農業部門の発展にとって特に重要である。今日、ロシアの農業はソビエト連邦崩壊後、経済のほぼすべての分野が存続の危機に瀕していた時代と比較して大幅に改善されている。しかし、ロシアの農村部では、低所得、平均寿命の低さなど、未解決の問題が数多く残っている。そのような状況の下では、イノベーション（技術的イノベーションと社会的イノベーションの両方を含む）および起業家精神（人的資本の一種）は、健全な農業・農村開発の鍵となると考えられる。

本研究の主な目的は、2000 年代以降のロシアにおける農業・農村開発、人間開発と人的資本の関係を明らかにすることである。まずは、農業・農村開発、人間開発及び人的資本の問題についての文献レビューを行った。次に、政府統計とセンサスデータに基づいてロシアにおけるそれらの状況を説明した。そして、文献レビューの結果に基づいて本研究で検証する仮説と方法が提案され、地域と自治体のデータを用いて仮説の検証を行なった。最後に、分析結果に基づいて総合的な結論を導出した上、中央政府と地方自治体の農業・農村開発政策や人的資本開発戦略に対する提言を試みた。

検証するための仮説は 2 つであり、仮説 1 の「2000 年代以降ロシアの農業開発と人間開発の間には正の関係がある」と仮説 2 の「2010 年以降農業の構造的変化と人的資本開発はロシアの農業開発に影響を与えている」である。これらの仮説を検証するために、本研究では構造方程式モデリング（SEM）を導入した。また、ロシアにおける農業生産の効率性を決定する要因を明らかにするために、確率的フロンティア分析（SFA）を用いた。

分析結果からは以下の結論が得られた。第一に、ロシアの農業開発は 2000 年代から大きく改善され、それは国の食料安全保障と農村開発にも寄与した。第二に、農業部門の構造的変化と高等教育を受けた人的資本は、2000 年代以降の農業開発にプラスの影響を与えて

いることが検証された。しかし、一般教育を受けた人的資本は 2012 年から 2016 年の間に農業開発に与えた影響が検証されなかった。従って、ロシアの農業開発の成果は農村全体に波及する必要がある、農業開発と農村開発を同時に実現することが望まれる。

本研究から導出された政策的含意は、ロシアの農業・農村開発は人的資本の改善を通じて技術革新と制度革新（家庭農場の割合を増やすなど）を含む社会的革新によって加速されるべきであることを示唆している。

#### 審査結果の要旨

本論文は、2000 年代以降のロシアにおける農業と農村開発、人間開発と人的資本の関係を各種の統計データとセンサスから明らかにした。具体的には、文献レビューの結果に基づいた仮説と検証方法が提案され、地域と自治体のデータを用いて検証を行なった。また、分析結果に基づいて総合的な結論を導出した上、中央政府と地方自治体の農業・農村開発政策や人的資本開発戦略に対する提言を行なった。

分析結果からは、ロシアの農業開発は 2000 年代から大きく改善され、それは国の食料安全保障と農村開発にも寄与し、農業部門の構造的変化と高等教育を受けた人的資本は、農業開発にプラスの影響を与えていることが明らかになった。しかし、2012 年から 2016 年の間に一般教育を受けた人的資本は、農業開発に与える影響が検証されなかった。これらの結果から、ロシアにおける農業開発の成果は農村社会全体に波及することが求められ、農業開発と農村開発を同時に実現する必要がある、人的資本の改善を通じて技術革新と制度革新を含む社会的革新によって加速されるべきであることを示唆した。

これまではロシアにおける農業・農村開発、人間開発及び人的資本開発の関係に関する研究は極めて不足しており、本研究で得られた結果は農業経済学分野に留まらず、開発経済学や地域科学に新たな知見を与えるものであり、途上国や移行経済国及び先進国が直面している問題に重要な政策含意を示唆している。また、本論文の分析枠組みや分析方法及び主な分析結果は国際学術英文誌 *Letters in Spatial and Resource Sciences*, 2019, Online First ([doi.org/10.1007/s12076-019-00228-y](https://doi.org/10.1007/s12076-019-00228-y)) に掲載されているほか、2017 年度日本地域学会、国際地域学会 2018 年世界大会、及び日本農業経済学会 2018 年度大会で発表した。

以上のことから、本論文は博士（学術）の学位論文として十分な内容を持つものと判定した。